

まじめに感動素材

TAYCA REPORT

第157期 中間報告書

2022年4月1日から2022年9月30日まで

TAYCA
テイカ株式会社
証券コード：4027

トップメッセージ

Top Message

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は2022年9月30日をもちまして、第157期の第2四半期連結累計期間を終了しましたので、決算の概況などをご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大があったものの、社会活動の正常化が進み、景気は緩やかに持ち直しました。しかしながら、急激な円安の進行や原燃料価格の高騰等により、依然として先行きは不透明な状況で推移しました。

このような状況の下、当社グループは中期経営計画「MOVING-10 STAGE1」のもと、「変革による拡大」と「新素材の創出」に注力するとともに、製造原価の低減や業務効率の向上に取り組んでまいりました。当第2四半期連結累計期間は、輸出を中心に機能性微粒子製品の販売

株主の皆様への利益還元を充実させるため、当期の中間配当は1株当たり18円とさせていただきます。

年間配当金(2023年3月期)

中間 18円

期末 18円 (予定)



代表取締役 社長執行役員
出井 俊治

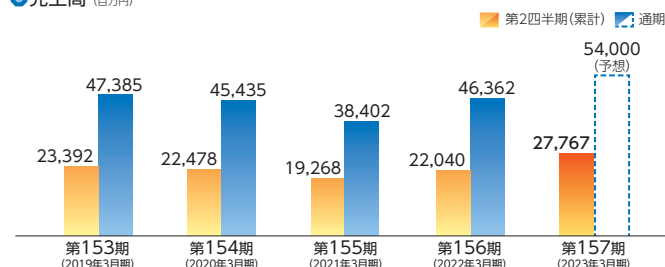
が回復したほか、各連結子会社の業績が堅調に推移したこと等により、売上高は277億6千7百万円(前年同期比26.0%増)、営業利益は27億4千6百万円(前年同期比41.4%増)、経常利益は30億9千万円(前年同期比44.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は21億6千5百万円(前年同期比34.1%増)となりました。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

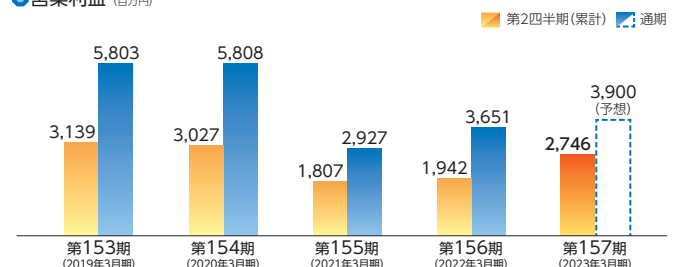
連結財務ハイライト

Consolidated Financial Highlights

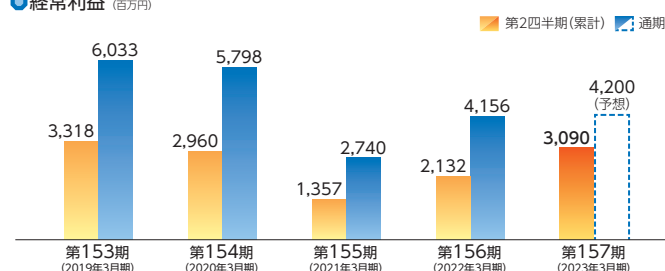
●売上高 (百万円)



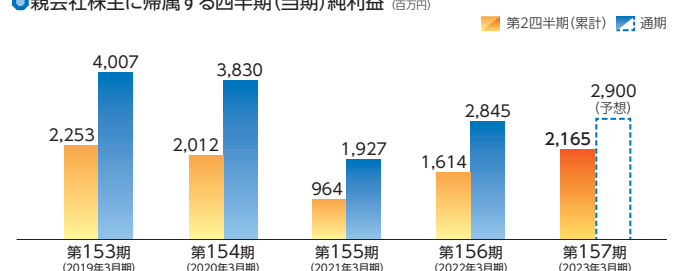
●営業利益 (百万円)



●経常利益 (百万円)



●親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (百万円)



機能性材料事業

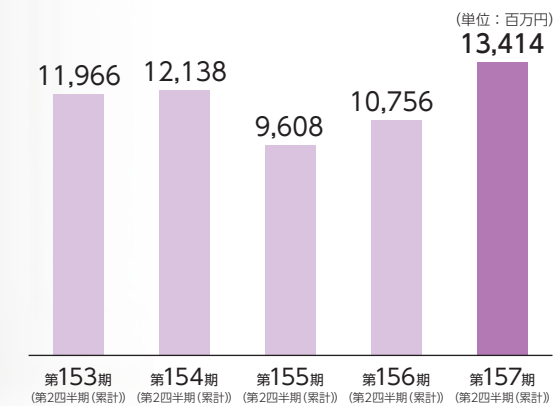
酸化チタン、微粒子酸化チタン、
微粒子酸化亜鉛、
表面処理製品等の製造・販売

- 汎用用途の酸化チタンは、需要が堅調に推移し、販売数量、売上高ともに前年同期を上回る。
- 機能性用途の微粒子酸化チタン、微粒子酸化亜鉛及び表面処理製品は、海外化粧品市場が回復し、販売数量は前年同期を上回る。また、円安の影響も受け、売上高は前年同期を大きく上回る。

売上高

13,414百万円

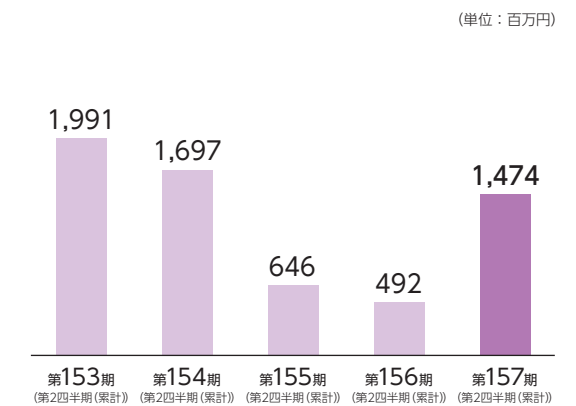
前年同期比 24.7%増



営業利益

1,474百万円

前年同期比 199.6%増



電子材料・化成品事業

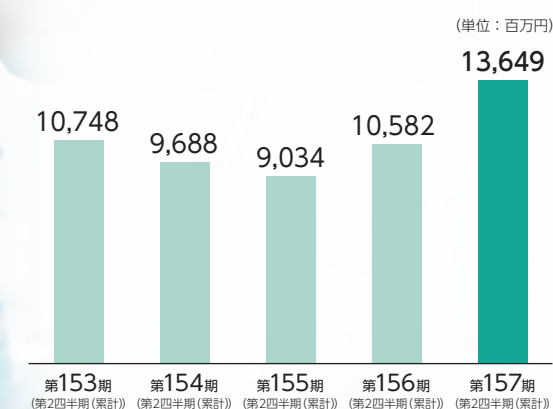
圧電材料、導電性高分子薬剤、
界面活性剤、無公害防錆顔料等の製造・販売

- 圧電材料は、医療機器用の国内顧客の在庫調整があったものの、海外連結子会社も含め海外顧客向けの販売が好調に推移し、売上高は前年同期を上回る。
- 導電性高分子薬剤は、ICT関連の需要低迷と半導体不足による自動車生産の減少の影響を受け、販売数量、売上高ともに前年同期を若干下回る。
- 界面活性剤は、業務用洗剤向けの需要が回復基調にあり、販売数量は前年同期並みとなるも、海外連結子会社の販売は堅調に推移し、円安による為替換算の影響もあり、売上高は前年同期を上回る。
- 無公害防錆顔料は、半導体不足による自動車生産の落ち込みの影響を受け、販売数量は前年同期から減少したものの、販売価格の改定を進め、売上高は前年同期を上回る。

売上高

13,649百万円

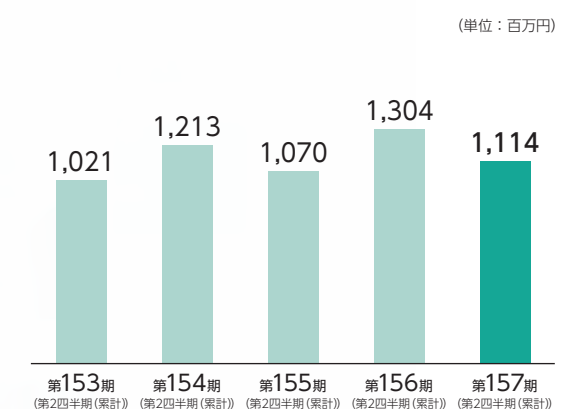
前年同期比 29.0%増



営業利益

1,114百万円

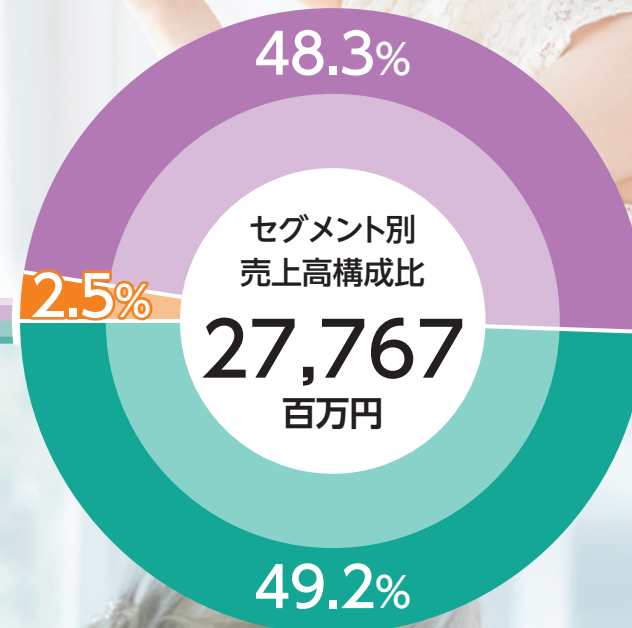
前年同期比 14.6%減



その他

化学工業薬品等の輸送・保管

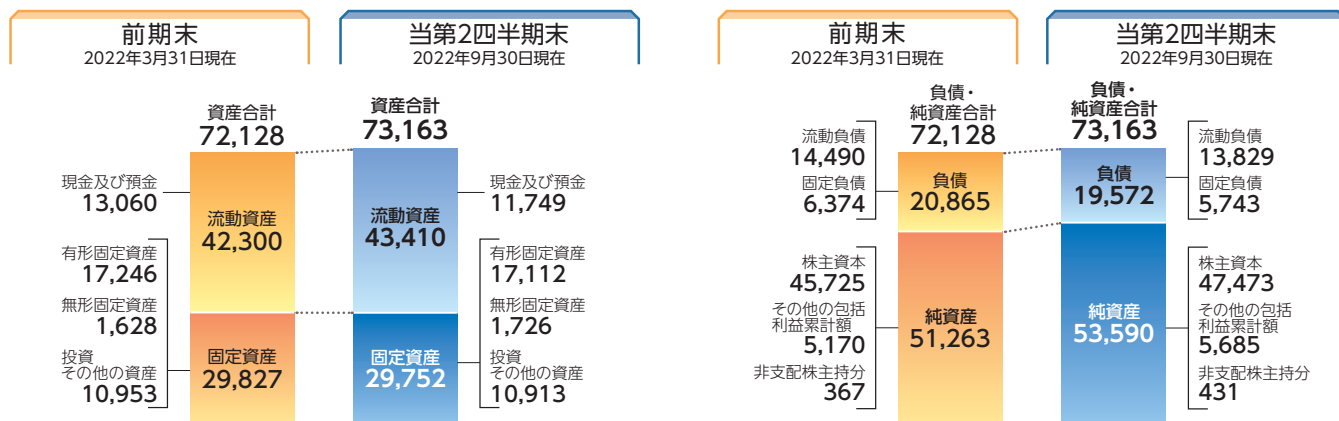
- 倉庫業は、主要顧客の取り扱い量が増加したことにより、売上高は前年同期を上回る。



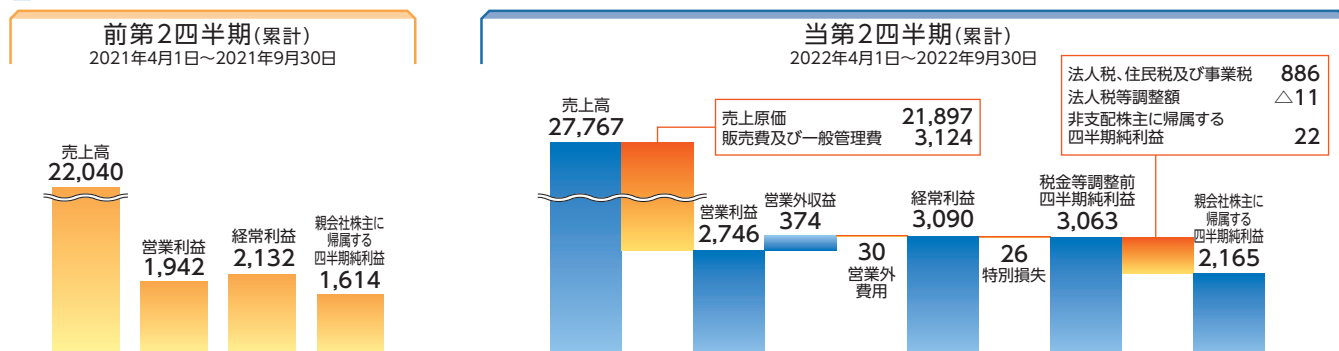
※1 第155期第1四半期会計期間より、報告セグメントを従来の「酸化チタン関連事業」「その他事業」の2区分から「機能性材料事業」「電子材料・化成品事業」の2区分に変更しております。

※2 報告セグメント区分の変更に伴い、第153期・第154期の数値に関しては、変更後の算定方法及び変更後のセグメント区分にて組み替えた数値で比較しております。

■連結貸借対照表の概要 (単位:百万円)



■連結損益計算書の概要 (単位:百万円)



TOPICS
トピックス

サステナビリティレポート

当社は、持続可能な社会の実現に貢献するため、サステナビリティ推進を経営の重要なテーマとしています。そして2022年5月、テイカグループのサステナビリティ情報を分かりやすくお伝えする「サステナビリティレポート」を作成しました。当社ホームページ(<https://www.tayca.co.jp/>)に掲載していますので、ぜひこの機会にご覧いただきますようお願いいたします。

テイカグループ
サステナビリティレポート



ケミカルマテリアル Japan 2022 ONLINE

2022年10月17日から10月28日までWeb上で開催されました展示会「ケミカルマテリアル Japan 2022 ONLINE」に新製品を中心に、様々な分野の製品を出展しました。

展示品

- 圧電セラミックス、圧電単結晶
- ソフトタッチ球状シリカ
- 非晶質球状シリカ
- 犠抗ウイルス抗菌無機粉体
- 多孔質酸化チタンセラミックス
- チタニアゾル など

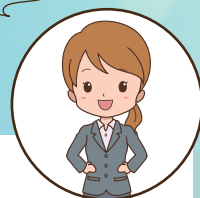
また、展示会で発表しました製品の詳細については、当社ホームページにも掲載していますので、ご覧いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。



当社ホームページ <https://www.tayca.co.jp/>



テイカ花子
ご案内!



第4回 化粧品原料その1

テイカの化粧品原料 ～日焼け止め化粧品原料メーカーから化粧品原料総合メーカーへ～

テイカはこれまで、日焼け止め化粧品原料を中心に微粒子酸化チタン、微粒子酸化亜鉛や表面処理製品を開発・販売してきました。そして現在、皮脂吸着パウダーや赤外線遮蔽酸化チタン、さらに他社との提携を通じてセリサイトの販売を行うなど、取り扱い製品を拡大しています。テイカは、日焼け止め化粧品原料だけでなく、様々な化粧品原料の取り扱いを行っています。

テイカが取り扱っている化粧品原料のラインナップ

微粒子酸化チタン

しみの原因となる紫外線UVBの遮蔽性に優れる

微粒子酸化亜鉛

しわ、たるみの原因となる紫外線UVAの遮蔽性に優れる

表面処理製品

有機系の表面処理を施すことで分散性・感触に優れる

顔料級酸化チタン

優れた隠蔽性を有する白色顔料



赤外線遮蔽酸化チタン

独自の粒子設計で赤外線領域の散乱効率を最大化している

皮脂吸着パウダー

皮脂成分を吸着、固化し化粧崩れやテカリを抑える

セリサイト

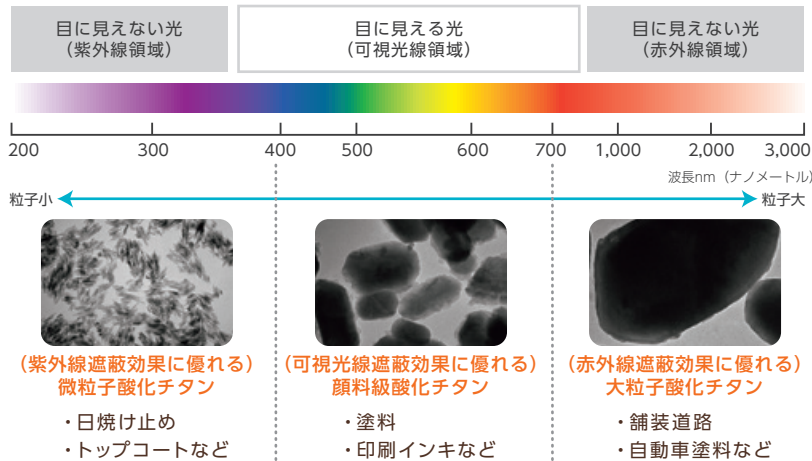
板状粒子であり、感触が非常になめらかで伸びが良い



化粧品原料の主成分である酸化チタン

チタン元素は、18世紀末にイングランドとドイツの学者によって発見され、ギリシャ神話の巨人「タイタン (Titan)」から命名されました。チタン元素は地表の多くの物質に含まれているものの、含有量の高い鉱石は少なく、現在使われているのはイルメナイト鉱、ルチル鉱、アナターゼ鉱に限られています。これらの鉱石を原料に、酸化チタンが1916年に初めて開発され、以来、様々な用途で使われています。

テイカは1951年より酸化チタンの製造を開始し、半世紀以上にわたって粒子径や形状を制御する独自の技術とノウハウを蓄積してきました。その中で、目に見える波長(可視光線領域)だけでなく、波長の短い光(紫外線領域)や波長の長い光(赤外線領域)も遮蔽できる酸化チタンなど特徴的な製品を製造しています。

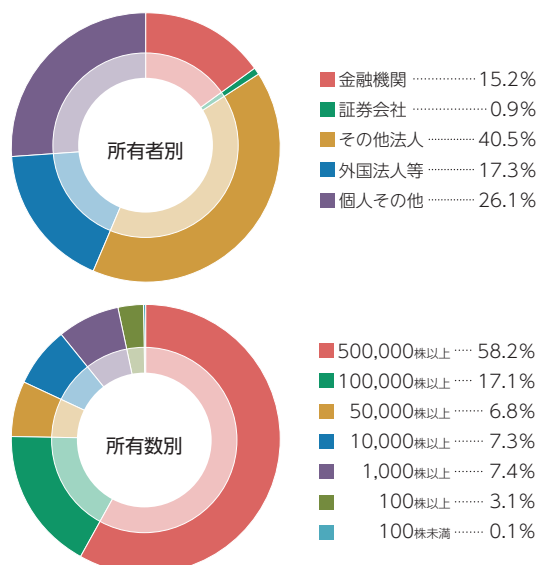


発行可能株式総数 75,000,000株
 発行済株式の総数 25,714,414株
 株主数 4,442名
 大株主

株主名	所有株式数 (千株)
QUINTET PRIVATE BANK (EUROPE) S.A.107704	2,467
三井物産株式会社	1,784
三菱商事株式会社	1,630
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,613
山田産業株式会社	1,470
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 株式会社日本カストディ銀行	1,009
テイカグループ持株会	820
中央日本土地建物株式会社	694
関西ペイント株式会社	612
住友商事株式会社	500

(注)当社は、自己株式2,539千株を保有しておりますが、上記には含めておりません。

分布状況



会社概要 (2022年9月30日現在)

Corporate Profile

創 立 1919年(大正8年)12月
資 本 金 9,855,953,999円
従 業 員 559名
事業内容 各種化学工業薬品の製造、販売(酸化チタン、界面活性剤、硫酸、微粒子酸化チタン、表面処理製品、無公害防錆顔料ほか)
事 業 所
 本社事務所 大阪市中央区谷町4丁目11番6号
 〒540-0012 電話(06)6943-6401(代)
 本 店 大阪市大正区船町1丁目3番47号
 大阪工場 〒551-0022 電話(06)6555-3250(代)
 東京支店 東京都中央区日本橋3丁目8番2号
 〒103-0027 電話(03)3275-0815(代)
 岡山工場 岡山市東区西幸西1072番地
 〒704-8136 電話(086)946-8311(代)
 熊山工場 岡山県赤磐市小瀬木50番地1
 〒709-0717 電話(086)995-9290(代)

役 員 代表取締役 社長執行役員 出 井 俊 治
 取締役 常務執行役員 西 野 雅 彦
 取締役 常務執行役員 中 務 康 介
 取締役 上席執行役員 岩崎多摩太郎
 取締役 上席執行役員 村 田 悦 宏
 取締役 名木田 正 男
 取締役 常勤監査等委員 宮 崎 晃
 社外取締役 監査等委員 山 田 裕 幸
 社外取締役 監査等委員 田 中 等
 社外取締役 監査等委員 山 本 浩 二
 社外取締役 監査等委員 尾 崎 まみこ

株主メモ

事 業 年 度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会基準日 3月31日
期末配当金受領株主確定日 3月31日
中間配当金受領株主確定日 9月30日
定 時 株 主 総 会 6月下旬
単 元 株 式 数 100株
株 主 名 簿 管 理 人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関
同 連 絡 先 〒541-8502 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
 電話0120-094-777 (通話料無料)
公 告 方 法 電子公告
 公告掲載URL <https://www.tayca.co.jp/>
 (ただし、電子公告により行うことができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告を掲載いたします)
上 場 証 券 取 引 所 東京証券取引所 プライム市場

(ご注意)

- 1.株主様の住所変更、買取・買増請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取り扱いいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



<https://www.tayca.co.jp/>



本印刷物は、FSC®認証紙と植物油インキを使用しています。



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。